

頑張る子供達にエール

ある和歌山の高校が、テレビに取り上げられていました。経営者の粉飾疑惑で生徒数減少、赤字が続き6クラスあるうち1クラスしか教室が稼働していない。窓ガラスが割れていても修理するお金がない。トイレの天井が壊れ、雨の日は物凄い勢いで水が流れ落ちてくる。そんな中残された生徒たちは、“いまにみとれ”と言葉を放つ。バスケット部はインターハイに、野球部は甲子園に頑張る。一人でも抜けたら出場ができない。みんなも高校を辞めようと一度くらいは思ったけど、最後まで頑張り抜いて卒業できた。その姿に心が奪われた。

ある患者さんが、コロナの期間の学生時代を送った子供たちが本当に可哀想だと話しました。私は、上記の和歌山の高校生の話をして、コロナ禍を経験した子供は、もしかすると私達大人が考えるほどに、現状を受け入れ我慢をしながらも力強くいつかは、“いまにみとれ”という言葉に胸にひめながらも自分達の夢に1歩1歩進んでいるのかもしれない。子どもたちの計り知れない生きる原動力は、苦難に立ち向かった時どこからともなく出現して、ひとまわりも、ふたまわりも成長してくれるのかもしれない。そんな子どもたちの成長を見守り続けてあげたい。そして、結果はどうあれ、努力の先にある笑顔が見たいねと、患者さんと話しました。

クリニックの状況

最近の当院流行ですが、一番多いのは分類できないその他の発熱です。診断できる病気としては、幼児は、手足口病、RSの罹患率が高く、小学生は、溶連菌、コロナの罹患率が目立ちます。中高生は、ほぼコロナのことが多いようです。7月に入ってコロナが増えてきています。手足口病は、毎年流行株で経過が変わりますが、今年の一般的な経過は、39℃の発熱が24時間位続いて、解熱後、手・足・口・お尻に発疹が出現します。水疱疹は、3日目ピークで、6日目で痂皮化します。手足口病は、感染期が長いので解熱後24時間して、食事が摂取できれば、一般的に登園は可能ですが、病院での手足口病の診断と、各園の規定によります。

おうち縁日で夏気分

最近では自宅で縁日を再現して楽しむ人も増えてきています。手軽に縁日を再現できるセットなどもあり夏気分を味わえます。

うちわや紙風船、花火などをすだれに飾り付け、屋台を思わせる台は大きめの段ボールに白い画用紙を貼る

台の上には焼きそばやポテトフライなどの縁日の屋台でおなじみの料理を並べる

庭では入れものに水をためてカラフルなスーパーボールや水ヨーヨーを浮かせる

浴衣を着て本物の夏祭りのように

自宅ですること周りを気にせず思う存分思いきり楽しめる！お祭り気分を味わうことができて子供が喜んでくれると嬉しい！

幼児の外遊び 熱中症から守る

暑い日が続く中気をつけなければならないのが熱中症です。外で遊ぶときは庭をネットで覆って日光を遮ることで予防できます。遮光ネットを使用すると日なたと比べて体感で2度ぐらい涼しくなると言われています。また、熱中症情報で気温や湿度、日差しによる熱などから算出された暑さ指数も確認すると良いです。

危険 (31以上)	運動は原則中止 外出は避け、涼しい室内に	警戒 (25以上28未満)	積極的に休息をとる
厳重警戒 (28以上31未満)	激しい運動は中止 10~20分おきに休憩・水分補給	注意 (25未満)	積極的に水分・塩分をとる

暑さ指数は高い順に危険・厳重警戒・警戒・注意と表されます。

これらは熱中症に対する湿度の影響を重視します。湿度が高い場所では汗が蒸発しにくく、体から熱をうまく放出できなくなり熱中症のリスクが高まるのです。

屋内で涼しく氷遊び

熱中症の恐れもあるので子どもの外遊びは控えたい・・・
そんな時は家の中で親子で「氷遊び」を楽しんでみてはいかがでしょうか。

【水でお絵描き】製氷皿に食紅適量と水を入れて混ぜ、冷凍庫で凍らせて氷絵の具を作ります。床に敷いたレジャーシートの上で、画用紙に氷の絵の具で好きに絵を描きます。氷を滑らせるだけで画用紙に色が付くので1歳前後でも楽しめます。

【氷のオブジェ】プリンや牛乳パックなどの空き容器に、草花や凍らせてもいいプラスチック製のおもちゃと水を入れて氷にします。完成した氷のオブジェは眺めても涼やかですが、5歳頃なら氷を壊したり溶かしたり、氷に閉じ込めたおもちゃを「はやく脱出させよう！」というゲームなどもいいと思います。

【氷のボウリング】レジャーシートの上で氷を滑らせてペットボトルに命中させて遊びます。ペットボトルの位置や数を変えてみんなで競ったりもできます。

子どもは様々な体験を通し安全かどうかなどを判断する認知能力が発達していくといえます。氷遊びは氷を握ると「冷たい」と感じ、氷が体温で溶けることや落とすと割れることなど物理を学べます。もう一度氷を作る、安全に配慮して手で氷をたたくてみるなど子どもの好奇心に応えながら一緒にあそんであげてください。

⚠️ 子供が氷やおもちゃを誤飲する恐れがあるので必ず大人も一緒に遊んで欲しいです ⚠️

「8月の代診のお知らせ」

7日・21日の水曜日は畠添先生の診察になります。診断書の記入や体重チェック、臍ヘルニアの診察の方は院長先生の診察日に来院していただくようお願いいたします。